



きつつきの商売 (2)

名前

上の文章を読んで、答えましょう。

(1) きつつきが子ねずみたちに言った言葉を書きましょう。 (10)

(2) 次の音は、どんなふう聞こえたのでしょう。文の中の言葉を使って書きましょう。 (10)

① ぶなの葉っぱ

② じめんからの音

③ 葉っぱのかさの音

④ ぶなの森のずうつとおくふかくから

(3) 「今日のけとくべつな音」というのは、何の音ですか。 (10)

(4) 「今日のけとくべつな音」を聞いている、十びきの子ねずみたちの様子にあてはまるものに、○をしましょう。 (10)

- () ぬれながら聞いている。
- () かさをさして聞いている。
- () にこにこしながら聞いている。
- () うなずきながら聞いている。
- () 目を開けたりとじたりしながら聞いている。
- () おどりながら聞いている。

葉っぱのかさをさした十びきの子ねずみたちは、きらきらしたきれいな目を、そろってきつつきにむけました。

「さあ、いいですか。今日のけとくべつな音です。お口をさして、目をして、聞いてください。」

みんなは、しんとたまって、目をとじました。

目をとじると、そこらじゅうのいろいろな音が、いちどに聞こえてきました。

ぶなの葉っぱの、
シャバシャバシャバ。

じめんからの、
パシパシピチピチ。

葉っぱのかさの、
パリパリパリ。

そして、ぶなの森の、
ずうつとおくふかくから、
ドウドウドウ。
ザワザワザワ。



「ああ、聞こえる、雨の音だ。」

「ほんとだ。聞こえる。」

「雨の音だ。」

「へえ。」

「うふふ。」

野ねずみたちは、みんな、にこにこなずいて、それから、目を開けたりとじたりしながら、ずうつとずうつと、とくべつメニューの雨の音につつまれていたのでした。